

健康福祉常任委員会会議記録（概要）

平成28年10月19日（水）

開 会（午前9時0分）

【議 事】

○特定事件「子ども支援について」

子どもの貧困について

【概要説明】

※事前に資料配付

岸こども政策

子どもの貧困に関する資料として2点、ご用意しました。

課長

一つは、A3版の、所沢市「子どもの貧困対策」に関連する実施事業(H28年度)です。

もう一つが、ひとり親家庭生活情報平成28年度版の冊子です。

早速、子どもの貧困対策に関連する実施事業について、簡単ではありますが、ご説明いたします。

子どもの貧困対策については、各課において、関連部署との連携により、情報を共有し、必要な支援を実施しているところです。所沢市においては、先日委員会で視察をされました足立区のような、子どもの貧困対策を一元管理するような特別な部署を設けていない状況ですが、子どもの貧困対策に関し、所沢市で取り組んでいる事業を整理、把握する必要がありましたことから、この一覧表に取りまとめたものになります。

表の見方ですが、左から、担当する所管課名、新規、既存という区分、

事業名、事業概要、所要経費となります。

各事業に関する詳しい説明は省略させていただきますが、国が貧困対策に関連する施策として位置づけている施策がありまして、そのうち、市で実施している施策をこの事業一覧に掲載しています。

関係各課においては、連携を図りながら事業展開をしているところで

す。

市としましては、今後の話になりますが、今のところ、子どもの貧困対策に関するニーズ調査の実施や、計画の策定、条例の制定といった予定はありませんが、足立区のような先進自治体を注視していきながら、その効果等を検証させていただき、必要に応じて対応を検討していきたいと考えています。

浅見こども支
援課長

ひとり親家庭生活情報という冊子についてですが、児童扶養手当の新規申請の際に申請者の方にお配りしているものであり、また相談に来られたひとり親の方にもお渡ししているものです。

ただいまこども政策課長から説明がありました、市で行っている支援事業のほかにも、国や県で実施している事業、社会福祉協議会や民間のNPOで実施している事業など多種多様に行われている事業を盛り込んでいきます。

この冊子についてはひとり親というくくりで作成していますが、掲載している事業については、一般の方が利用できる事業も含まれています。子

育て・生活の支援、相談・情報提供、自立支援、経済的な支援、貸付・融資といった章立てとしており、それぞれ利用対象の方がわかりやすいように、母子、寡婦、父子、一般といった欄があり、対象となる方のところにマルがついているといったつくりになっています。

社会福祉協議会や民間事業者も含めて実施している事業等いろいろとありますので参考にさせていただければと思います、配付させていただきました。

【質 疑】

末吉委員

確認させていただきたいのだが、「子どもの貧困対策」に関する実施事業は、国の政策に関連する事業を集めたということによろしいか。そうでない事業については、ひとり親家庭生活情報に網羅されているというご説明であったが、国の政策に関連するということについて、どのような法律、法令に沿っているのか。

岸こども政策
課長

それぞれ分かれてしまいますが、子どもの貧困に関して国から送付される資料の中で、貧困対策の事例としてこういったものが挙げられるのは、というものが示されています。そこには文部科学省関連の事業であったり、厚生労働省関連の事業であったりという形で一連の事業を並べてあり、それに合致する市の施策を一覧表にまとめたものです。

末吉委員 そういった、国から来るものについて、例えば福祉部、健康推進部とこども未来部について集めていただいたということか。

岸こども政策
課長 全庁レベルで照会をかけ回答を得たものですので、福祉部やこども未来部に限らず、教育委員会に対しても、該当する事業については回答してもらい掲載しています。

末吉委員 結果的に関係するのは4部だったということか。

岸こども政策
課長 福祉部、こども未来部、健康推進部、教育委員会となります。

平井委員 所沢市独自の事業があれば教えていただきたい。

岸こども政策
課長 国がこういったものが挙げられるのでは、というところからリンクした事業を挙げておりますが、そこに入らないものでいえば、例えば、24番の入学準備金の貸付制度、25番の育英奨学金・遺児奨学金、27番の特定教育・保育施設等実費徴収助成事業があります。

平井委員 これらは所沢市の独自事業ということか。

岸こども政策 課長	あくまでも国が貧困対策として挙げた事例の一覧に載っていないだけであって他市でやっていないというものではございません。
平井委員	冊子はひとり親家庭には皆に差し上げていると理解してよいか。
浅見こども支 援課長	そのとおりでございます。
矢作委員	国で法律ができたということで今回こうしていろいろとまとめたかと思うのだが、今、課題としてあがっているもの、また、施策として検討しているものがあれば示してほしい。
岸こども政策 課長	子どもの貧困に関する事業について全庁レベルでどのぐらいあるかということを今整理しまとめたところでございます。国が子どもの貧困対策事業として考えているところの実施状況としては、ほぼできているのではないかと考えております。特にここが足りないという目立ったものはないという認識ですが、今後、足立区などの状況をみまして、所沢市でやっていない事業について効果があるというようなことがあれば今後検討していきたいと考えています。
矢作委員	最初に一元管理している部署がないとの話があったが、庁内での検討委

員会のようなものがある、それぞれで持ち寄って検討しているというような段階なのか。足立区を参考にしてという部分で、どんなところを参考にしているのか。

岸こども政策
課長

足立区のように子どもの貧困対策部を新たに組んだ事例、組織自体を変えて貧困の対応をしようという事例はなかなかございません。所沢市以外の他市においても、それぞれの所管でそれぞれの事業を実施しているところが多い状況で、足立区のような考えは少数ですので、今のところはそうしたことを検討する場も設けてはおりません。足立区のように一元化した方がいいのではないかと状況がみられればそうした検討もしていくようになるかと思えます。

矢作委員

今はこども政策課を中心にして進めているということでよいか。

岸こども政策
課長

子どもの貧困についてまとめる所管がございませんので、今のところは整理している状況でしかないのですが、他にないためこども政策課で行っている状況です。今後、どこに中心になっていくのか、足立区のようにした方がいいのか、どこか1カ所、中心となる部署を設けてやっていく方がいいのかということも含めて検討していくということになります。

吉村委員

所沢市独自の調査は行っていないが、国が法律をつくり、大綱をつくっ

た中で、例えば生活保護世帯における高校進学率など、いくつかの指標を打ち出している。国では国民生活基礎調査に基づくいろいろなデータを持っているが、それと対応して、所沢市の実態はどうか分かるような調査はできないのか。例えば、国勢調査や基礎調査での各地方自治体の数値は、市としては把握できないのか。改めて調査しないとわからないものなのか。

要するに、所沢市がいろいろな指標の中で、どういった状況にあるかを知ることが必要であり、その後、そういった事業が必要になるかということになると思う。国が貧困についての法律をつくり、こういったことをやっていたころとなったときに、いくつかの指標があるが、所沢市ではどうなっているかがわかっていないと、例えば足立区と比較しても必要なことが浮き彫りにならないし、目標値がないまま進んでいくことになってしまうと思うので、やはり調査を実施するべきだと思う。

今回、事業一覧についてはわかったが、そうではなく、例えば生活保護世帯の就労率であったり、貧困の連鎖ということが今すごくいわれていて、国もそういった指標をつくっている。それに対応した所沢市の実態はこういう状況ですよということをデータとして持つておくべきではないかと思う。子どもの貧困に対する指標というものがあるが、生活保護世帯の子どもの高等学校の進学率、中退率、大学進学率、就職率、児童養護施設の子どもの進学率や就職率など多くの指標があり、国がデータを持っている。国が定めた事業を一つひとつやっているのはわかるのだが、そうい

ったものを市として持っていないと、政策も立てようがないと思うのだが
いかがか。

岸こども政策
課長

おっしゃるとおり、所沢市独自の調査は、今のところ実施しておりませ
ん。全国的にもこういった調査は進んでいない状況ですので、調査をして、
こういったものが足りないのではないかと考え、必要な事業を実施すると
いう過程を踏んで、アンケート結果からピンポイントで、足りない部分に
対応した結果、本当によかったといえるような効果が見受けられたとき
に、所沢市でも必要になるのではないかと考えています。今のところ、全
国的にもまだ実施されていないということもありますし、アンケートの方
法も、足立区では小学校1年生の保護者を対象に実施していますが、その
場合、教育委員会との連携も必要となりますので、アンケートを実施して
効果があるということがもう少し見えてから考えていこうと思っていま
す。

吉村委員

埼玉県は、そういった調査を行っていないのか。

岸こども政策
課長

確認した結果、今のところ、実施予定はないとのこと。川越市、さ
いたま市、川口市、熊谷市、草加市、新座市、春日部市、久喜市でも実施
予定はないとのことでした。

末吉委員

埼玉県は5カ年の大綱を策定しているが、その中に、生活保護世帯の高校進学率を100%にするという指標があった。埼玉県の中では、子どもの貧困対策について、どこが所管しているのか。また県との連携は取っているのか。

岸こども政策
課長

子どもの応援行動計画ですと、全般的な子どもの支援に関するのではなく、一部、貧困対策推進についても載っていますが、子どもの貧困を別立てはしていないというところで、県から市町村に対し、推進するようにという話は来ていません。

末吉委員

この28事業の中で、健康推進部の事業は2事業であるが、足立区では、子どもの貧困については、例えば健康寿命や歯のことも含め、非常に影響があるという話があったが、健康推進部では、この部分についての考えや問題意識を現状で持っているか。

渚江健康づく
り支援課長

ここに載せている2事業についても、その他の事業についても、全てもとの目的としては、保健事業から出発しています。ただ、今の話ですと、例えば虐待の関係なども川上の部分である保健事業で見つけるといったことでは、保護者の方、家庭の方のリスクを管理する中で、経済的な理由もリスクの一つといった意味では対応することが結果として貧困対策の一つとなっていると捉えています。

末吉委員

虐待などで、歯など身体症状が出てくることはあるので、そのことは問題意識として持ち、把握を進めておられるのではと思うが、先進自治体である足立区では、子どもの貧困自体が、一生を通じての健康寿命にも影響を与え、そのことがひいてはその自治体全体の健康にも関わるという問題意識を強く持っておられ、そのことに深い感銘を受けた。そういった問題意識は、日本全体でもまだ追いついていないと思うが、どう考えているか。

浏江健康づくり支援課長

健康寿命延伸については、当市においても健幸長寿のまち所沢の実現ということで中心的に考えているところです。成人に対して健康教育、健康情報の伝達を行う中で健康寿命の延伸を図ることだけでなく、小さい頃から適正な生活習慣を定着化させることが、先々の健康寿命延伸につながっていくものと認識し、さまざまな保健事業を実施しているところですが、貧困というポイントに当てた形で行っているというよりは、全体に対して行っているというのが現状です。

平井委員

子どもの貧困については、私たちもこれから勉強しようということで、討論会に向けて動いているところであるが、例えば今はやっていなくても、生活保護を受けていらっしゃる中で、高校に進学されている方は何人かといった数字はすぐに出てくると思う。他市ではやっていなくても、所沢市の中で実績を見れば、数字は出てくるのではないか。実態を知らない

と、何をやっていくのかが見えてこないなので、まずは実態を示していただき、その先に進めばだんだん見えてくるものがあるのではと思うが、そういったことは可能か。

荻野生活福祉

高校の進学率ですが、生活保護世帯については把握しています。

課長

平井委員

それでは、こういった指標というところをこちらから出せば、それに対して回答いただくことはできるのか。

荻野生活福祉

高校進学率等、把握している数字を回答することは可能です。

課長

末吉委員

表中の福祉部所管の部分については、生活保護世帯と、生活困窮者自立支援法に関するものかと思うが、自立支援法の中の必須と任意の項目で、まだ取り組んでいない事業はあるのか。

荻野生活福祉

今取り組んでいる事業では、必須事業では、自立相談支援事業、住居確保給付金、任意事業では今年度からの家計相談支援事業、また学習支援事業があります。取り組んでいない事業については、就労準備支援事業、一時生活支援事業となります。

課長

末吉委員

取り組んでいない理由を伺いたい。

荻野生活福祉
課長

自立相談支援事業の内容は、制度の狭間において、孤立、困窮している方について各制度につないでいくことが目的ですので、まずはその部分を重点的にやっていきたいということで、就労準備支援事業については取り組んでいないものです。

一時生活支援事業については、シェルターを確保するという事業ですが、生活困窮でお金がなくシェルターが必要となるような人については、生活保護の適用で、市内にも3カ所あります無料定額宿泊所の利用などができますので、そちらを活用しているという状況です。

中村委員

実態が把握できていないので、何をやっていいかという評価は、現段階では何もできないと思うが、実際に、個々のケースが各課にまたがった場合の情報共有のあり方については、何かフォーマットができていいのか。というのも、福祉の分野では、これだけアウトリーチということがいわれている状況がある中で、産前・産後ケアの時も同じ話をしたが、共通フォーマットといったものがあるのか伺いたい。ひとり親生活状況の冊子を見ても、本人が選んでアプローチしていくという作業かと思うが、逆のパターンで、共通フォーマットをもとに、いろいろなところからそういった相談が出てくると思うが、共有するシステムはできているのか。

例えば、介護保険であれば、個別事例に関わっていく介護福祉士、ケアマネジャー、精神保健福祉士などの専門家たちが集まって話し合う場として地域ケア会議がある。話し合う場まではいかないとしても、各課で情報を共有する、例えばシートの一つでもいいと思うが、そういったものはないのか。介護保険の例で、福祉ではモデルが一つ既にでき上がっているが、いかがか。

岸こども政策
課長

それをもって各課を回ることのできる共通のフォーマットといったものはありませんが、個別のケースについては、関係する部署が集まって、ケースワーク等の対応を行っています。

中村委員

地方自治体はなかなか経済対策を打たないが、それは市民、個人が見えていて、その人のよりよき幸せを考えながら動かれているということは理解できるが、おそらく貧困問題がクローズアップされてきた背景は、これを解決していかないと、日本や所沢市の社会経済的な今後の発展を阻害するということがあると思う。このことから、この問題はプライベートな問題ではなく、パブリックなものであるので、政策を打って、積極的に解消していこうということが、貧困対策がクローズアップされてきた一つの理由である。それに対して一番難しくなってくるのは、これまでは子育てというものが、プライベートの領域に位置づけられており、そのために、何について実態把握するのか、またその結果をどう分析するかということ

が、すごく難しかったのだと思う。しかしこれからはそこをオープンにして社会化していかなければならない。子育てや貧困をオープンにしていくことについて、懸念か積極的な姿勢かはわからないが、現段階での認識を伺いたい。

岸こども政策
課長

おっしゃるとおり、縦割りを解消しないと対応できないということではごもつともですが、そういった意味では、足立区も、縦割りで苦しい部分をなくすために子どもの貧困対策担当部といった形で組織立てをした部分もあるのではないかと思います。

所沢市でもすぐにそういったことができるかといいますと、先ほど来お話をさせていただいていますとおり、足立区などの状況、効果等を見た上で、本当に良く、ぜひやらなくては、ということが見えてきたところで検討していきたいと考えていきたいと思っています。

末吉委員

プライベートなことを引っ張り出すとか、ここが貧困だということではなくて、ここにこういう課題があるということを経験するという段階なのだと思う。非常にプライベートな問題であることをある意味ごちゃごちゃにしてこれまで話をしてきたかと思う。教育委員会でもその方たちを傷つけるといういい方でそこがごちゃごちゃになっていた。所沢市としては、子どもの貧困、特に未来がある子どもたちに対しての課題が今あり、対策をしていかないと未来に関わって大きく影響があるといえるかどうかだ

と思う。今、そこを共有できているのか。まだそこまで行っていないのか。

植村福祉部長

貧困ということでは、年々生活保護受給者の人数が増えていったりという事で課題があるということは誰もが思っていることではあるのですが、足立区のような子どもの貧困を中心とした課題を、所沢市としてはまだ共通認識として持っていないのが事実だと思います。生活福祉課で行っている生活困窮者の自立相談支援事業の中でも、お金はあるが、お金の使い方がわからないから結果として困窮に陥っているというケースもあり、いろいろな問題が絡んでいる、貧困の理由もいろいろなことが複層化しているということが事実かと認識しています。今の段階では、教育委員会を含めた5部が、困っている子どもについてケースごとに情報を共有して、その子どもにとってどういう方法がいいのかという話し合いもしています。貧困だけに焦点を当てて対応しているものはございません。

本田こども未来部長

福祉部長の答弁のとおりでございますが、市の中では個別の課題についてはしっかりと対応しています。子どもの貧困という視点の切り口として進められているかという点、そこはさまざまな課題がまだまだございます。それらについてどういった解決策があるか、所沢市としてどう対応していくかということは、今後、検討していく余地があり、時間が必要ではないかと感じております。

末吉委員

子どもの貧困については、皆が口を揃えて、表面に出てきづらいということを用。実際に困っていても親も子どもも隠すということで、出てきづらいということが今問題提起されているかと思う。中村委員からアウトリーチということがあったが、現状の中のアウトリーチとしては、生活困窮者自立支援法、コミュニティーソーシャルワーカー、地域ケア会議ぐらいか。子どもに関して、例えば富山市であれば生活保護世帯のホーム事業を学習支援と併せてやっているが、そういう子どもに関してのアウトリーチをやっているか。

本田こども未来部長

アウトリーチということではございませんが、虐待についても表に出にくいということがありますので、要保護児童対策地域協議会がありますので、貧困を扱っている協議会ではございませんが、それぞれの立場のそれぞれの組織の者が情報共有を図れる場ではあると思っています。切り口は虐待ではありますが、様子に違和感のある子どもがいればそこでの情報共有が、そこでは今でもできていることかと考えています。その中で虐待につながらないようにということも一つの方向性ではないかと思っております。

矢作委員

アウトソーシングもあるが、相談事業も大切に、いろいろな相談が寄せられると思う。例えば男女共同参画へ女性の相談があつてそこからDVや虐待、生活困窮、市民生活の相談など寄せられるかと思う。そういう相談

の中から施策に結びついていくというのが、個々のケースに丁寧に対応するという意味ではとても大切になってくると思う。こどもと福祉の未来館ができるが、横の連携ができれば必要なところへ必要な施策が届くことにつながってくるかと思う。現在でもやってるかと思うが、どうなっているのか。縦割りといっているが、施策を知らない、学校教育では学校で、福祉では民生委員・児童委員などが発信をしているのに結びつかないというところがないように進めてほしいが、どうか。

植村福祉部長

生活困窮者自立相談支援事業でも一部、行っておりまして、さきほどから話が出ているアウトリーチはこの事業でも行っております。また、社会福祉協議会に委託しておりますので、社会福祉協議会には独自のコミュニティソーシャルワーカーがおりますので、そこで対応などを図り、お金はあるが親が子どもに対してネグレクトであったり病気を抱えていて食事をつくれな、あたたかいものを食べさせたことがないというようなことに対しては、こども食堂を開催したりして、待っているだけではなく、出ていく仕事などもしております。

こどもと福祉の未来館につきましても、来庁された方に対応することと、CSWが地域全体14地区に配置されていますので、アウトリーチもしていきます。ただ、それは貧困だけが問題ではなくさまざまな問題がありますので、そこだけで解決はできないこともございますから、いろいろな関係機関をつなげることで、何々協議会、何々会議というような形には

ならないかもしれませんが、ネットワークというものはつくっていく予定
でおります。

平井委員

足立区は全庁的に貧困に取り組んでいる。もっとすごいのは、個々のケ
ースを解決していく中でそれを制度化して全庁に広げることを行って
いる。野球をやったことがないという子どもの話を聞いて、なんとかその子
にスポーツの楽しさを味わわせたいと野球チームをつくったという話が
あったかと思うが、ひとりの問題にしないで、そういう子どもたちを集め
て野球をできる環境をつくる、そこまで話を発展させることができる足立
区はすごいなと思った。個々のケースにしないで制度化することが大事な
のかと思う。一つのケースについても全庁的に解決していくというシステ
ムがないと子どもの貧困問題への取組は難しいかと感じているが、いかが
か。

本田こども未
来部長

他市の事例も注視してまいりたいと思いますし、所沢市にも課題がある
ことは十分承知しておりますので、所沢市ではどんなことができるのかと
いうことも含めて、検討させていただきます。

近藤委員

足立区の名前が出てるが、足立区は足立区の課題があつて子どもの貧困
に取り組んでいる。所沢市には所沢市の事情があると思うが、そこを踏ま
えて、所沢市の特徴を生かした子どもの貧困問題に取り組んでいくのか確

認したい。

本田こども未
来部長

まずは庁内の情報収集ですとか、所沢市の状況を踏まえ、先進市の事例を踏まえて検討していければと思っております。

越阪部委員

時代と共にいろいろと変わってきていて、ある意味、見直しのいいチャンスではないか。市役所の中では縦割りの弊害が起こっているということが浮き彫りになっている感じがする。社会のあり方、個人的なものとパブリック的なことをどのようにしていくかということが課題になっているのではないか。家庭とは、社会とは、ということをつえなおして取り組まなくてはならないか。総合的に、全庁的な取組が必要かと思う。できればプロジェクトチームのようなものができて取り組んでいけるといいと思うがいかがか。また、実態調査が必要なのではないか。さらに、もととなっている国で示された法的なこと、子どもの貧困対策の大綱のようなものとリンクして所沢市の取組がわかるようなことになるといい。国の指標とこの資料の表とがリンクされてないとわかりづらい。国とリンクさせて整理し対応した考え方で取組を行い、わかりやすくみえるような形にならないか。所沢市ではここに投資している、ここを頑張っている、こういう課題のうち今年はこれに取り組むというような見えるものがあるといいかと思うが、どのように考えているか。

本田こども未
来部長

貴重なご指摘と捉え、今後検討してまいります。

末吉委員

委員会で障害児療育を審査した時に、ずっと通した支援をしてほしいという話がかかりあった。妊娠出産の時に、お金がないとかいろいろなリスクがあって困っている方がいるという話を産後ケアの審査の時に聞いた。そうした方が出産し、育児をしていく中でそうしたリスクはなかなか消えないと思う。そういうことに関して、例えばこども未来部と福祉部との切れ目のない支援体制というのはあるのか。

渌江健康づく
り支援課長

段階はあるかと思いますが、必要に応じましてリスクがそれほど高くなければ各種助成制度を、妊娠期の時から説明するとか、リスクが高ければ特定妊婦という形で要保護児童対策地域協議会にもあげていき、情報を共有しながら進めております。産まれてからリスクが急に好転するわけではございませんので、産後は保健師が個別支援という形で関わりを持ち続けております。生活面では例えば生活保護ということで福祉へつなげる等しております。

末吉委員

仕組みとしてはないということか。今の話では、個々の話に応じて生活保護をすすめることはしているようだ。1人に対して部をまたいで成長に応じて支援をしていくという仕組みは特にはないということか。

渕江健康づくり支援課長

例えば妊娠期であれば病院における個別事例検討会というところに医師やケースワーカーが同席して検討してまいりますので、明確な仕組みは確かにはございませんが、個々に応じた対応を取らせていただいています。

【質疑終結】

亀山委員長

当委員会においては、子どもの貧困をテーマに、7月13日に子どもの貧困に関する議員研修会を行い、8月8日は足立区子どもの貧困対策実施計画について視察し、本日、所沢市における子どもの貧困対策について協議をいたしました。また、本日の午後、横浜市子どもの貧困対策に関する計画について視察を行う予定となっていること等から、特定事件「子ども支援について」のうち、「子どもの貧困について」は、引き続き審査することにご異議ありませんか。（委員了承）

亀山委員長

ご異議なしと認め、そのように決定しました。

特定事件「子ども支援について」のうち、「子どもの貧困について」は、当委員会において年間を通じたテーマとしており、今後視察も重ね、共通認識を図っていくことから、政策形成の一環として政策討論会を開催することとしてよろしいですか。（委員了承）

亀山委員長

政策討論のテーマは、「子どもの笑顔輝く未来へ（子どもの貧困対策について）」とし、日程については平成29年1月21日土曜日午後2時から4時まで、開催場所については、こどもと福祉の未来館内の所沢市地域福祉センターとし、政策討論会を行うこと、また、先進事例について参加者の共通認識を図るため、政策討論会に先立ち、議員研修会を兼ねた足立区政策経営部長秋生修一郎氏による基調講演を行うこととしてよろしいですか。（委員了承）

亀山委員長

政策討論会の広報については、11月発行の「ところざわ市議会だより」に掲載することでよろしいですか。（委員了承）

そのほかの周知方法についても、広聴広報委員会と連携しながら、今後検討していくこととします。

また、政策討論会の役割分担や具体的な実施方法等についても、今後、確認していきます。

亀山委員長

12月定例会における子どもの貧困に関する一般質問については、議会運営委員会了承事項にもありますとおり、「特定事件と一般質問のあり方については、良識に任せることとする。」ということで、会派のみなさんに周知をお願いします。会派「未来」及び「自民クラブ」につきましては、私から話をします。

亀山委員長

休 憩（午前10時2分）

（協議会を開催）

再 開（午前10時8分）

生活福祉課において進学率等のデータについて後日提供の旨の答弁があった関連で、他の課においても、子どもの貧困に関する国の指標にあるような項目において提供可能なデータがあれば、今後の調査及び政策討論会の参考としたいが、今後の視察と12月定例会の日程の都合により、委員会を開催する暇がないため、質問事項をまとめ、委員会として閉会中の文書質問を行うこととしてよろしいですか。（委員了承）

散 会（午前10時9分）